

# にしおの

## 生涯学習にささげた セカンドライフ

# おっ!



超高齢社会を迎えた日本。定年後のセカンドライフをいかに充実させ楽しむかは、仕事をリタイアした方だけでなく、多くの世代の関心事だといえます。心豊かなセカンドライフは、健康の維持や認知症の防止につながり、高齢になっても活力を保つためのエネルギー源にもなります。

中村茂雄さん

「今週も予定がいっぱい詰まっている。やりたいことがたくさんあり、ゆっくり休む暇もないよ」とスケジュールがびっしり書かれた手帳を笑顔で見せてくれたのは、生涯学習インストラクターの資格を持ち、市の生涯学習推進委員を務める中村茂雄さん(吉良町)。8月で82歳を迎える中村さんは、まだまだ元気いっぱい。先日受けた

健康診断の結果は良好で、週2回非常勤講師として勤務する白百合学園(丁田町)に電車で通勤しています。心身ともに健康で、毎日が充実しているという中村さんのセカンドライフは、「生涯学習」の一言に尽きます。

小・中学校の教員だった中村さんは、定年を控えた平成8年の夏、新聞で生涯学習インストラクターの記事を目にします。生涯学習インストラクターは、地域で自主的に生涯学習活動を企画・指導できる文部科学省が認定する資格です。中村さんは、学ぶ内容の幅広さと地道に取り組めること、得た知識を人のために使えることなどから、自分のセカンドライフを生涯学習にささげようと決心し、資格取得に挑戦。見事一発で生涯学習2級インストラクターに合格します。その後も挑戦を続け、1級インストラクターやコーディネーターにも合格。平成26年には、愛知県内で初めて上級コーディネーターの資格を取得しました。

一方、定年後の平成9年からは旧吉良町の町史編さん室に勤務。

翌年から同町生涯学習推進委員に就任するなど、本格的に生涯学習の推進に携わります。当時は振り返り、町が生涯学習に力を入れていたこともあり、企画を達成しやすい環境だった。やればやるほど町の皆さんとの輪が広がっていくのを感じた」と中村さん。自身が所属する専門部会の発案で「公民館ふれあいの集い」を開催。視察に来た大学教授から、町の生涯学習活動を褒められたことが一番の思い出で、自分が選択した第2の人生に確信が持てたそうです。

地元の津平小学校区でも精力的に生涯学習活動を展開する中村さん。中学生の頃から続ける書道は個展を開くほどの腕前で、地元住民を対象に書道教室を開催したり、小学校で書写の指導をしたりしています。イベントなどの看板の文字を託されることもしばしば。冬には白百合学園を始め、多くの学校の卒業証書に心を込めて卒業生の名前を書き入れています。今年書いた卒業証書は11校で891枚。そのエネルギーには頭が下がります。また、教員の頃にバレーボール部の顧問をしていたことから、地域の方が中心に運営する「吉良スポーツクラブ」にも協力。現在は同クラブの顧問に名を連ねています。

そんな中村さんに生涯学習の魅力を聞くと、「文化からスポーツまで、生涯学習のテーマは際限がない。



吉良町公民館で書道の個展を開催(平成26年)

いからずっと追い求められる。しかも、そこに特別な人間は必要ない。ちょっと分かる人が教えながら共に学び合えば良い。『めだかの学校』と同じで、誰もが先生にも生徒にもなれる。すると、そこに人と人のつながりが生まれ、人生を豊かにしてくれる」。

現在も市生涯学習推進委員を務める中村さん。最後に西尾の生涯学習について目標を聞くと、「17万人都市にふさわしい生涯学習とは何かを探している。物ではなく、心が潤う暮らしを手助けしたい」と答えてくれました。

生涯学習という活力源を得て、充実した毎日過ごす中村さん。そんな中村さんの姿に、遅かれ早かれ自分にも訪れるセカンドライフに一筋の光が差し込みました。

(石川泰弘)



## 世代を超えて 地域に奏でるハーモニー

### 西尾ウインドオーケストラ

4月に一色地域交流センターで行った演奏会

#### 第1回定期演奏会

**日時** 31年2月3日(日)  
午後1時30分開場  
2時開演  
**場所** 文化会館大ホール  
**料金** 無料

間浅井 (☎090・9338・2967 / 戸ヶ崎町)

西尾ウインドオーケストラは「音楽を楽しく楽しむ」をモットーに活動する吹奏楽団です。生演奏の素晴らしい音をたくさんの人に伝えるため、ボランティアでの慰問先、イベント会場など、多くの場所で演奏しています。現在、団員数は16歳〜66歳の38人。年齢も職業も経験もさまざまですが、「音楽が大好き」という気持ちには共通しています。経験やレベルにとらわれず、音楽好きなら誰でも楽しめる吹奏楽団です。

ぜひ私たちと一緒に演奏しませんか？ 高校生以上の管打楽器経験者で、楽器を持参できる方は大歓迎です。毎週土曜日の午後5時〜9時に、幸の森デイサービス(熊味町)で練習しています。見学もできますので、気軽にお問い合わせください。

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当(☎65・2159)へ。



外山 颯基くん  
(針曾根町)

平成29年2月生まれ  
笑顔が癒やしの颯基☆  
これからもお姉ちゃん  
たちと仲良くね♡



藤井 葉月ちゃん  
(吉良町)

平成28年8月生まれ  
ちょっとおてんば娘だ  
けど、人にやさしくで  
きる子になってね。



堤 洸士郎くん  
(米津町)

平成29年6月生まれ  
いつもニコリみんな  
笑顔にしてくれる洸士  
郎。家族の宝物だよ。



杉浦 美羽ちゃん  
(上矢田町)

平成28年1月生まれ  
家族の宝物のみうち  
さん♡優しいお兄ちゃん  
と仲良く成長してね!



加藤 杏ちゃん  
(一色町)

平成28年6月生まれ  
きゅうり大好き食いし  
ん坊杏♡ 好きをた  
くさんみつけてね!



山崎 昂くん  
(吾妻町)

平成29年2月生まれ  
食べることが大好きな  
昂くん☆ 心も体もビ  
ッグな男になってね☆



平林 咲菜ちゃん  
(一色町)

平成28年8月生まれ  
恥ずかしがり屋なさ  
なちゃん。元気にす  
くすく大きくなあれ。



乙部 悠樹くん  
(上羽角町)

平成29年1月生まれ  
ニコニコよく笑い、元  
気いっぱいのはるき。  
すくすく成長してね!

キ  
ツ  
ズ  
ア  
ル  
バ  
ム

# 西尾市史ニユース 21

## 名古屋城と幡豆石

市史編さん室 浅岡 優

木造天守の再建計画や復元本丸御殿の完成で話題の名古屋城。その石垣の一部に幡豆石が使われていることをご存知でしょうか。固く、石垣に適している幡豆石。東幡豆町の前島や沖島のほか、東幡豆町から吉良町宮崎周辺の海岸部にかけて、名古屋城の石垣用石材として幡豆石を切り出した際に残された矢穴石が分布しています。矢穴石とは、石を割る際に楔を打ち込んだ跡や普請を受け持った大名の印が刻まれた跡が残る石のことです。

矢穴石の分布を把握するため、今年5月に考古部会がこれまで未調査だった梶島を調査しました。その結果、島の南西部を中心に矢穴石が確認でき、梶島からも名古屋城築城のために石材が切り出されていたことが分かりました。しかし、刻印は見つかりませんでした。

幡豆地区では加藤清正や福島正則らの刻印が見つかっていません。中でも鳥羽八貫山の矢穴石に残る加藤清正の刻印は、名古屋城天守台でも確認できるため、幡豆石が天守台の石垣に使用された可能性があります。名古屋城を訪れた際には、豪華絢爛な本丸御殿だけでなく、石垣にも注目してください。



幡豆地区の矢穴石について詳しくは『幡豆町史資料編1 原始・古代・中世』をご覧ください。

関市史編さん室 (☎56・6660/岩瀬文庫内)

# 月刊!! スポーツにしお

Vol.41

## インターハイを目指して練習に励む 注目の水泳選手を紹介

今年度の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)水泳競技は、8月17日(金)〜20日(月)に日本ガイシプラザ(名古屋市南区)で行われます。全国の舞台での活躍を目指して練習に励む、注目の選手を紹介しましょう。

石川慎之助選手(中京大学付属

中京高校3年/吉良中学校出身/写真上・左)は、昨年アメリカで行われた世界ジュニア選手権に日本代表として出場。100メートルバタフライで見事4位に入賞するなど、世界の舞台で活躍しています。今年5月に開催されたジャパンオープンでは、100メートルバタフライで決勝へ進出。自己ベストを52秒44に更新し、6位に入賞しました。インターハイでは、同種目の日本高校記録52秒16を更新して優勝するのが目標です。

石川さんと同学年でチームメイトの久慈大翔選手(中京大学付属中京高校3年/鶴城中学校出身/写真上・右)は、6月に1500メートル自由形で15分53秒01の自

己ベストを記録しました。県内トップクラスのタイムです。中学3年生の時にジュニアオリンピック夏季大会にリレーメンバーとして出場した久慈選手。インターハイでも自己ベストを更新するため、持ち前の負けん気で練習を積み重ねています。

菊地逸平選手(鶴城丘高校2年/安城市出身/写真下)は、中学1年生の時にジュニアオリンピック夏季大会の50メートル平泳ぎに出場しました。高校入学後は、筋力トレーニングを本格的に導入してダイナミックな泳ぎ方を習得。今年の出場はかきませんでしたが、着実にベストタイムを更新し、来年のインターハイ出場に向けて頑張っています。



関市水泳協会 磯貝(☎54・3786/パルスイミング西尾内/今川町) スポーツ課振興担当(☎54・0002/総合体育館内)

## 西尾市のデータ

### ■人口



	7月1日現在	前月比
男性	87,110人	+16人
女性	84,800人	+25人
計	171,910人	+41人
世帯数	63,944世帯	+79世帯

### ■交通事故の状況



	人身事故 件数	死傷者	
		死者	死者
6月	56件	71人	0人
30年累計	346件	429人	3人

### ■犯罪発生状況



	刑法犯総数	侵入盗	特殊詐欺
6月	98件	16件	1件
30年累計 (被害総額)	395件	60件	5件 377万円

### ■消防の状況



	火災	救助	救急
6月	3件	5件	513件
30年累計	26件	19件	3,323件

## 今月の表紙

エアリービーズ (AIRYBEES) は「快活なミツバチたち」という意味で、コート上で躍動する選手たちの姿がミツバチに例えられています。蜂のように速く鋭い攻撃で、日本バレー界の女王を目指す選手のユニフォームには、市章と「西尾市」の文字が入れています。市民一丸となってエアリービーズを応援しましょう。

## 編集雑記

いよいよ夏本番！ のんびり過ごすことができる癒やしのカフェで冷たいドリンクとおいしいスイーツに出会えたら、とても幸せな気分になりますね。今や、SNSを活用する女子には欠かせない、おしゃれなカフェ。趣向を凝らしたカフェメニューを取りそろえるすてきな店が、市内でぞくぞくとオープンしています。自分好みのカフェを見つけ、ゆるりと流れるぜいたくな時間を過ごしてみたいかがでしょうか。心がふつと軽くなりますよ。(N)

スクールスマイルショット

# School Smile Shot

### ●一色西部小学校

6月16日、あすなるフォーラムが行われました。地域の方を先生に迎え、バルーンアートや絵手紙など15講座を開催。テーブルフラワーの講座では、花のきれいな生け方を丁寧に教えていました。



### ●東部中学校

7月3日にいきものふれあいの里で、1年生がボランティア活動を行いました。強い日差しの中、お互いに協力しながら菖蒲園の枯れた花を刈り取り、心地良い汗を流していました。



### ●一色南部小学校

7月10日、さざなみオリンピックが行われました。全校児童が赤、青、黄、白のグループに分かれ、放送や体育など8つの委員会それぞれ考えたゲームやクイズを楽しみながら競い合いました。



## 【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>  
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail [nishio@city.nishio.lg.jp](mailto:nishio@city.nishio.lg.jp)

■本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)  
〒445-8501 西尾市寄住町下田22

■一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)  
〒444-0492 西尾市一色町一色東前新田8

■吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)  
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20

■幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)  
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が開覧できます。